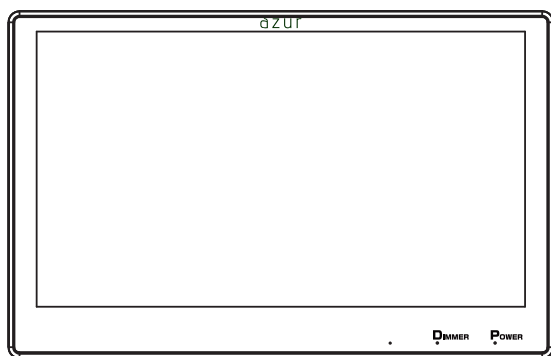


10.1インチHDMI対応WSVGAモニター

RMX-H1017

取扱説明書



この度は、HDMI対応WSVGAモニターをお買い上げ
いただき誠にありがとうございます。

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになられた後は、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取り下さい。

目 次

はじめに

】安全上のご注意	-----	1-3
】取扱説明書について	-----	3
】商品構成一覧表	-----	4
】各部のはたらき	-----	5
】リモコン各部のはたらき	-----	6
】電池交換方法について	-----	7

操作方法

】本機メニューについて	-----	8-9
】接続方法	-----	10-11
】取り付けについて	-----	12-13
】リアモニタースタンドの取付方法	-----	13-17

仕様書	-----	18
-----	-------	----

故障かなと思ったら	-----	19
-----------	-------	----

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、この「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。

内容を理解してから、本文を読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

 △記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容であることを告げるものです。 (左図の場合は感電注意が描かれています。)
 ○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 (左図の場合は分解禁止が描かれています。)
 ●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 (左図の場合は電源プラグから抜く様子が描かれています。)

※ この製品の故障、誤作動、不具合などによって発生した次に上げる損害などの付随的損害補償につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者が記録メディアへ記録された内容の損害
- 録音、再生等のお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

- ・ 運転する方は、運転中はテレビ、ビデオを絶対に見ないでください。また運転中に本機の操作をしないでください。交通事故の原因となります。
- ・ 本製品の電源はDC12V(マイナスアース車)専用です。家庭で見るための改造は絶対にしていません。
- ・ 本製品は日本国内専用です。海外ではシステムが異なるため使用できません。

安全上のご注意

表示された電源電圧以外では使わない



本機はDC12V専用です。異なる電源電圧で使うと火災、感電の原因となります。

禁止

内部に金属や燃えやすいものを入れない



ヘアピンやコイン等を本機の上に置く
と通風孔から内部に入り、ショートして
火災や感電の原因となります。

禁止

水をかけたり、濡らしたりしない



水か
け禁止

本機の中に水分が入ると火災や感電の
原因となります。風呂、シャワー室等の水
のかかる場所では使わないでください。

取り付けは専門技術者に依頼する



取り付けと配線は専門技術者と経験が
必要です。

運転の妨げになる場所に設置しない



禁止

前方や後方の視界を妨げる場所、運転操
作に支障をきたす場所、同乗者に危険を
及ぼす場所に設置しないでください。交
通事故の原因となります。

正しく配線を行ってください。



誤った配線をするると発火や事故の原因
となります。特にリード線がネジやシー
トレールの可動部にかみこまないよう
固定してください。

エアバックに注意



エアバックが装着された車の場合、作動
の妨げにならない場所に取り付けてくだ
さい。エアバック作動時、思わぬケガを負
う危険性があります。

雷が鳴り出したら



接触禁止



感電に注意

本機や電源プラグに触れないでくだ
さい。感電の恐れがあります。

内部温度を上げないように注意する



禁止

通風孔をふさがない。布などをかけない。
シートやマット等の柔らかい物の上に置か
ない。
発火や感電の原因となることがあります。

高温にご注意



禁止

高温度を発生するヒーターなどの側に
設置しないでください。火災・故障・変形
の原因となります。

分解、改造、修理はしない



分解禁止

本体を分解、改造、修理はしないでくだ
さい。修理は販売店にご相談ください。ケー
スを開けるとやけど感電の原因になりま
す。

電源ケーブルは定期的に掃除、点検する



電源ケーブルのカブラー部分を定期的
に点検し、付着したホコリや汚れ等を拭
きとってください。汚れにより発熱し、火
災の原因となることがあります。

電源コードは大切に



禁止

電源コードに傷つけたり、加工したり、無理
に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱し
たりしないでください。コードが破損して火
災・感電の原因となります。付属のコード以
外使用しないでください。

配線場所に気を付ける



コード類は運転操作や乗降りの妨げ
にならない場所に配線ください。
ステアリング、シフトレバー、ブレーキペ
ダル、足等に巻き付いて交通事故やケ
ガの原因となります。

安全上のご注意

運転中は画面を見たり、操作しない



禁止

運転者が画面を見る時は必ず安全な場所に停車させ、サイドブレーキを引いてからご覧ください。走行中の使用は重大な事故の原因となります。

配線にご注意



禁止

本機の取付やアース配線にステアリング、ブレーキ系統、燃料タンク等の保安部品のボルトやナット、ネジは絶対に使用しないでください。制動不良や事故、発火の原因となります。

故障や異常のまま使用しない



異常の時にコンセントを抜く

煙が出ている、異様なおいかしたら電源コードを抜き、販売店に修理または点検を依頼してください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

安定した場所に固定する



固定せず不完全な所に置くと、急ブレーキの時、思わぬケガや損害を負う危険があります。必ず固定してお使いください。

液晶パネルを強く押さない



禁止

パネルを強く押ししたり、落下させたり、強い衝撃を与えると液晶パネルが破損する危険性があります。

配線上の注意



指定以外の配線を使ったり、一箇所から集中して電源を取り過ぎると火災ややけどの原因となります。また、電源供給回路が損傷することがあります。

決められたヒューズを使用する



必ず規定のヒューズ(本製品は2A)をご使用ください。規定外のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となることがあります。

音量に注意



(音量は小さく)

電源を切るときは音量を下げておいてください。電源再投入時、大きな音で聴力障害などの原因となります。



モニターの向きを変える時は、スタンドを抑えてゆっくりと動かしてください。可動範囲を超えて無理に動かすと、スタンドを破損させる恐れがあります。

取扱説明書について

- 1 本書の内容の一部または全部を無断で転載する事を禁じます。
- 2 本書の内容及び説明している情報は、予告無く改善ため変更される場合があります。予めご了承ください。
- 3 本書の内容には万全を期しておりますが、万一疑問な点や誤り、記載ミス、記載漏れなどが御座いましたら、弊社までご連絡をお願いいたします。
- 4 弊社では本製品を運用した結果の影響については、3項目にかかわらず、責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 5 本書で指示記載してある内容を見逃した行為や、誤った操作によって生じた障害や損害については保証期間内であっても弊社では責任を負いかねますので、予めご了承ください。
また、いかなる場合におきましても本製品以外の保証（取付工賃など）に関しましては、一切負担を致しかねますので、予めご了承ください。

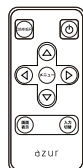
商品構成一覧表

本機には、次のものが同梱されています。設置、接続の前にご確認ください。万が一、足りない場合や破損していた場合は、すぐに販売店または購入先までご連絡ください。

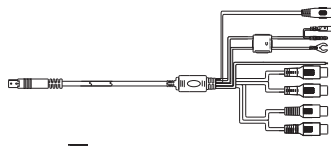
■ モニター本体



■ リモコン



■ 電源ケーブル

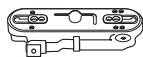


電源供給用USBケーブル

■ 本体取扱説明書



■ スタンド構成部品



スタンド本体



プロテクター
(本体に装着)



六角レンチ
(本体に収納)



スペーサー
(2枚)



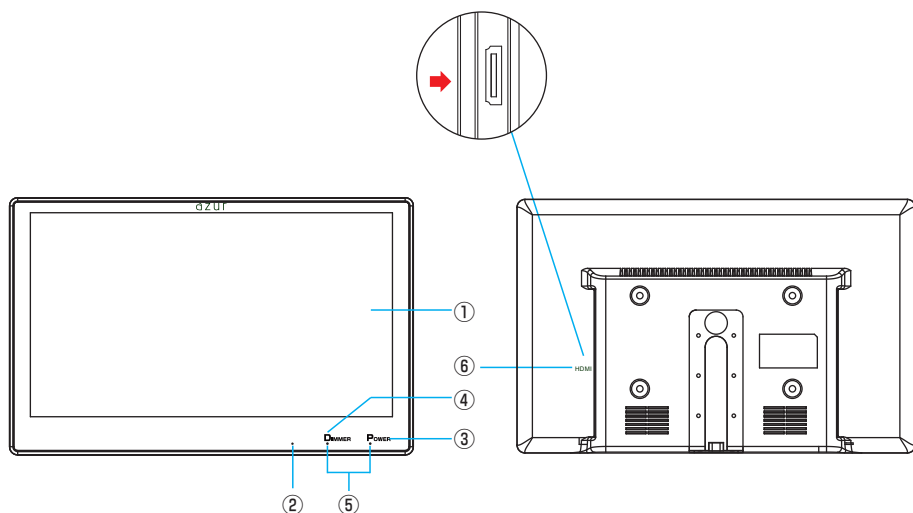
付属シャフトガイド (2個)
(シャフト径1.4mm用)

■ 保証書

保証書			
お名前	氏名		
お住所	〒 番 地		
お電話	電話番号 () -		
型番	RMX-H1017		
お買い上げ日	年 月 日	保証期間	年 月 日
保証期間(本体): お買い上げ日から1年間			

※保証は、本製品が保証書に記載の保証期間中の故障で修理が必要を伴うことをお約束するものではありません。
保証期間中に保証対象となる故障が確認された場合、修理が必要と判断された場合は、修理費用を無料にて修理いたします。ただし、保証期間中に修理が必要と判断された場合は、修理費用を無料にて修理いたします。
保証期間中に修理が必要と判断された場合は、修理費用を無料にて修理いたします。ただし、保証期間中に修理が必要と判断された場合は、修理費用を無料にて修理いたします。
保証期間中に修理が必要と判断された場合は、修理費用を無料にて修理いたします。ただし、保証期間中に修理が必要と判断された場合は、修理費用を無料にて修理いたします。

各部のはたらき



1	液晶画面	2	リモコン信号受光部
3	電源ボタン 電源のオン/オフを切り替えます。	4	DIMMERボタン ディマーモードのオン/オフを切り替えます。ディマーモードをオンに設定すると、画面の明るさが通常時の約50%程暗くなります。
5	LED指示ランプ 電源をオンにする時、POWERとDIMMERとも白いランプが点灯します。電源をオフにする時、POWERは赤いランプが点灯します。(DIMMERは点灯しません)	6	HDMI入力端子（標準コネクタ ーメス） 別売りのHDMI端子を接続します。

リモコン各部のはたらき

DIMMERボタン

ディマーモードのオン/オフを切り替えます。ディマーモードをオンに設定すると、画面の明るさが通常時の約50%程度暗くなります。

◀ ▶ ボタン

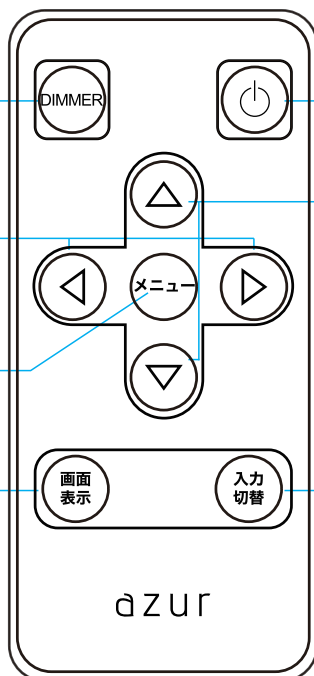
画面/音声/機能など設定画面の切り替えと設定項目の値を調整します。

メニューボタン

メニューを表示/非表示します。上下左右方向ボタンで変更したい項目へ移動してから、◻ ◻ ボタンで値/設定の調整を行ってください。何も操作しないと、約10秒後にメニューが消えます。

画面表示ボタン

画面サイズを「FULL」「4:3」に切り替えます。



電源ボタン

電源のオン/オフを切り替えます。

◻ ◻ ボタン

メニュー画面のとき、設定項目を切り替えます。再生画面のとき、音量の上げ/下げを調整します。

入力切り替えボタン

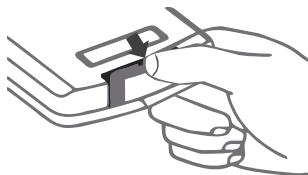
モニターの映像入力とHDMI入力モードを切り替えます。

電池交換方法について

ご使用する前に

初めてリモコンをご使用になる場合は、リモコン下部に電池の消耗を防ぐための透明の絶縁フィルムが入っておりますので、このフィルムをはずしてからご使用ください。

電池「CR-2025」は通常一年間ほど使用できますが、付属の電池は動作確認用のため、電池寿命が1年以内になる場合があります。この場合は、同じ型名の電池をご購入の上、交換をしてください。



電池交換方法について

1 電池ホルダーを引き出す

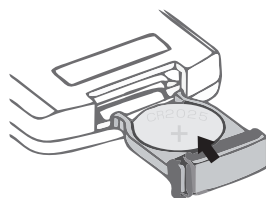
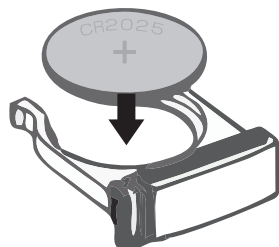
ロック部にツメを引っ掛けて引き抜きます。

2 電池を交換する

古い電池を取り出して、新しいリチウム電池CR2025を+（プラス）側を上にして電池ホルダーに入れます。

3 電池ホルダーを差し込む

右図の方法で電池ホルダーをリモコン本体に差し込み



リモコンのご使用について

- リモコンの先端部を本機器のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンの操作有効範囲はリモコン受光部が見える、約3メートル以内です。
- リモコン操作で本機器が動作しない場合は、リモコンの電池寿命が考えられます。新しい電池を交換してください。
- リモコンを直射日光のあたる場所に放置したり、取り付けないでください。熱により変形したり、誤動作する場合があります。
- リモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっているとリモコン操作がしにくくなります。照明の向きを変えるか、リモコンをリモコン受光部に近づけて操作してください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃を与えないでください。また、水にぬらしたり温度の高いところに置かないでください。
- リモコンを高温の場所で保管しないでください。電池の特性により、早く消耗することがあります。

本機メニューについて

リモコンのメニューボタンを押すと、本機のメニュー画面に入ります。
本機の設定メニューは下表のような構成になっています。

	設定項目	設定値
画面	画像モード	ダイナミック/ユーザー/標準/ソフト
	明るさ	0~100
	コントラスト	0~100
	彩度	0~100
	シャープネス	0~100
	色温度	標準/ウォーム/コールド
	アスペクト比	FULL/4:3
	ノイズ低減	オフ/低/中/高
音声	バランス	L50~R50
設定	言語	日本語/English
	背景色	オン/オフ
	リセット	決定

画面設定



- 1 画面モードをダイナミック（コントラストを強調する効果）、ユーザー（画面のコントラストなどをデフォルト以外の数値に設定すると、自動的にユーザーモードに入ります）、標準（工場出荷設定値）、ソフト（コントラストを抑える効果）から設定します。工場出荷設定：標準
- 2 画面の明るさを設定します。設定範囲：0~100。工場出荷設定：50
- 3 画面のコントラストを設定します。設定範囲：0~100。工場出荷設定：50
- 4 画面の彩度を設定します。設定範囲：0~100。工場出荷設定：50
- 5 画面のシャープネスを設定します。設定範囲：0~100。工場出荷設定：50
- 6 画面の色温度を設定します。標準/ウォーム/コールドから設定します。工場出荷設定：標準
- 7 画面表示のアスペクト比をFULL/4:3から設定します。工場出荷設定：FULL
- 8 画面のノイズ低減効果をオフ、低、中、高から設定します。工場出荷設定：中

音声設定



- 1 音声の左右バランスを設定します。設定範囲： L50~R50 。工場出荷設定：0

設定

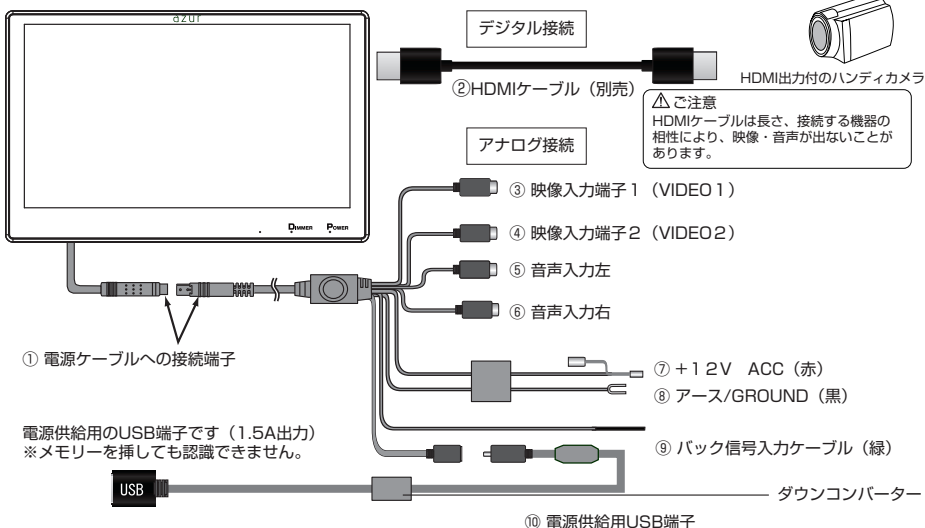


- 1 本体言語を日本語と英語から設定します。
工場出荷設定：日本語
- 2 画面の背景色を設定します。オンに設定すると、青色になります、オフに設定すると、背景色を表示しません。工場出荷設定：オン
- 3 本体すべての設定をリセットします。リモコン   ボタンで決定を選択すると、全ての設定値を工場出荷設定に戻します。

接続方法

外部機器の接続

付属の電源ケーブルをモニターに接続します。
このケーブルは以下のようにTVチューナーやDVDプレーヤー等を接続します。
全ての接続が完了してから、電源入力端子に電源を接続してください。



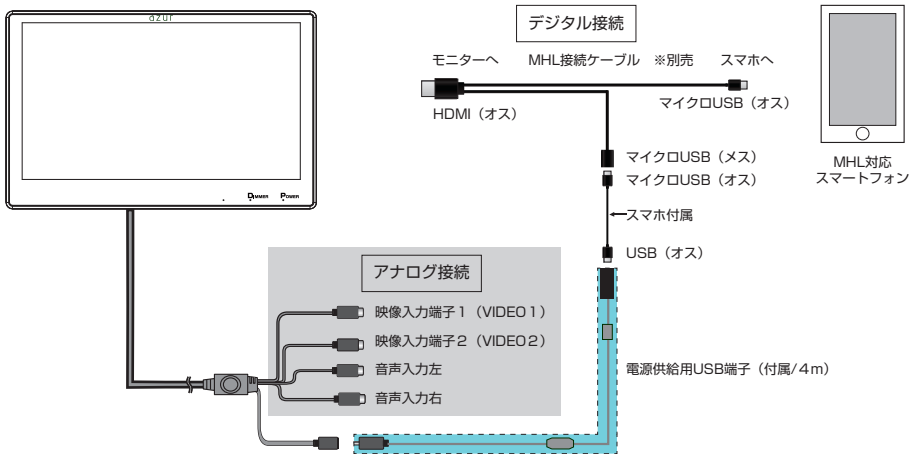
- ① 電源ケーブルへの接続端子
モニター側の端子に接続します。端子のマークに合わせてから接続してください。
- ② HDMI入力端子
別売りのHDMIに接続します。
- ③ 映像入力端子 1 (VIDEO 1)
お手持ちのTVチューナーやDVDプレーヤーなどを接続します。
- ④ 映像入力端子 2 (VIDEO 2)
お手持ちのTVチューナーやDVDプレーヤーなどを接続します。
- ⑤ 音声入力左
- ⑥ 音声入力右
- ⑦ +12V ACC (赤)
電源+12V (ACC : アクセサリー線) を、圧着端子等を利用して確実に取り付けてください。
- ⑧ アース/GROUND (黒)
マイナス (黒線 : ボディーアース) を車のシャーシ (金属部分) へ確実に取り付けてください。
- ⑨ バック信号入力ケーブル (緑)
車のギアをバックに入れたときに+12Vが流れる箇所へ確実に取り付けてください。
- ※ 本製品でバックカメラの映像を自動切り替えにすると時のみ使用します。
- ※ バックカメラを自動切り替えにすると時は、映像入力端子 2 (VIDEO 2) にカメラを接続してください。
- ⑩ 電源供給用USB端子
携帯電話やMHLケーブルに電源を供給するためのUSB端子です。
- ※ USB端子は充電専用となりますので、USBメモリーを挿しても音楽・動画などの再生はできません。
- ※ 本体からの電源は12V出力となり、ダウンコンバーターより先はUSB用に5Vに変圧しています。

接続方法

電源供給用USB端子の使い方（デジタル接続の使用例）

スマートフォンの動画を見る場合、MHL接続ケーブルに電源供給が必要になります。

MHL対応スマートフォン接続例



スマートフォン用のMHL接続ケーブルは、お持ちのスマートフォンの仕様に合ったものをご使用ください。RMX-H1017のHDMIのバージョンは1.4になります。



ご注意

地デジなどのテレビアプリはスマートフォンの機種・仕様及びアプリの仕様に依存し出力される機種が少ないためご注意ください。

MHLとはMobile High-definition Linkの略で、米Silicon Image社が開発した携帯機器向けの高速映像転送用のインターフェースです。

取り付けについて

⚠ 注意：取り付けの前に！

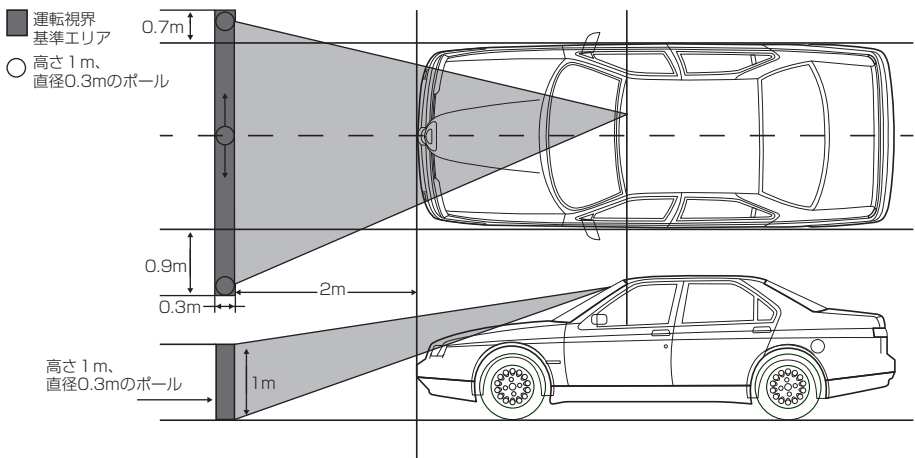
- ・本製品は、取り付け時や配線処理時に専門の知識や工具が必要になります。また、取り付け状況やお車によっては製品本体や内装材の脱落、車両破損などが生じる場合がありますので、取り付け前にお車の状況を十分に確認いただき、取り付けの際には十分ご注意ください。
- ・いずれの場合におきましても、取り付け時および使用中に生じた車両への破損、損害、お使いになる方やほかへの損害に関しましては、弊社では一切の責任を負いかねます。

⚠ 警告：ご注意ください！

- ・本機を取り付ける時には、必ず水平な場所を選び、サイドブレーキをかけ、エンジンを必ずオフにしてから行ってください。
- ・取り付けが不十分であったり、ネジが緩んでいると落下する恐れがありますのでご注意ください。
- ・本製品をダッシュボード上など運転者の視界内に設置する場合は、下記を参照の上保安基準に従って設置してください。保安基準に反する設置の場合、車検に通らないばかりか視界不足による思わぬ事故の恐れがあります。

●前方視界に関して

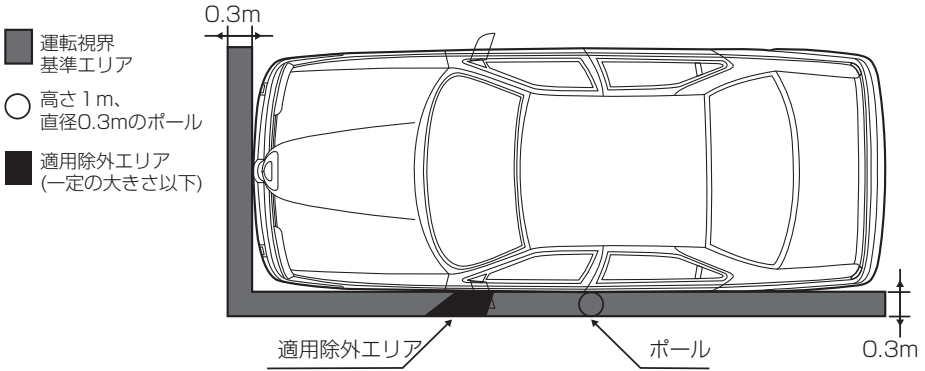
運転者が通常の運転状態における視点において、下図のポールが直接確認できるように取り付けてください。



●直前側方視界に関して

運転者が通常の運転状態における視点において、下図のポールが直接またはミラーやカメラ画像で確認できるように取り付けてください。

取り付けについて



- ・本機はDC12V専用です。トラックなどの異なる電源電圧では使用できません。
- ・配線をする時は、車両配線用コード以外で延長しないでください。コード被膜が破れ、製品の故障や火災、感電の原因となります。
- ・車体やネジ部分、シートなどの可動部に、配線を挟み込まないようにご注意ください。
- ・取り付けは、専門知識と技術のある販売店または専門業者にご相談、ご依頼ください。

リアモニタースタンドの取付方法

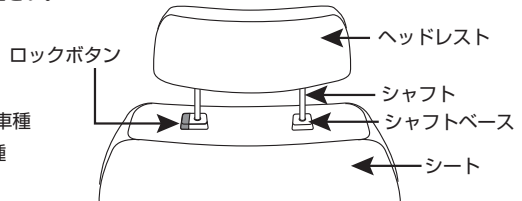
特徴

- ヘッドレストのシャフトベースに取り付けるタイプなので簡単にしっかり取り付けが可能です。
- 複数の可動部を採用していますので、TVをお好みの高さや角度に幅広い設定が可能です。

取り付けの前の準備

下記の場合は取り付けられないので、ご注意ください。

- ヘッドレストが取り外せない車種
- ロックボタンが外向きではない車種
- シャフトの間隔が115mm～185mm以外の車種
- シャフトやシャフトベースが特殊な形状の車種
- ヘッドレスト一体型シート形状の車種
- ヘッドレストを1本のシャフトで支えている車種
- 総重量1kg以上のTVやモニター



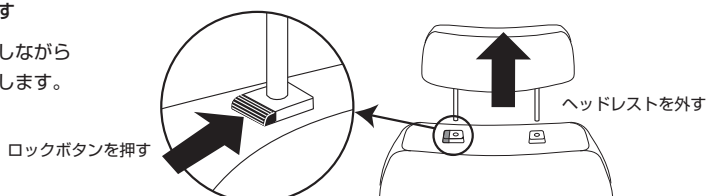
※本リアモニタースタンドは助手席側ヘッドレスト（左側シート専用）です。

リアモニタースタンドの取付方法

スタンド取り付け

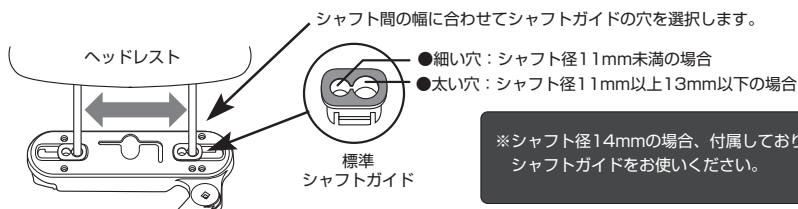
1 ヘッドレストを外す

ロックボタンを押しながら
ヘッドレストを外します。



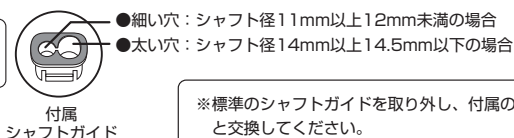
2 シャフトガイドを取り付ける

シャフトの径に合わせ細い穴・太い穴または付属の14mm対応シャフトガイドの穴を選択します。



※シャフト径14mmの場合、付属しております
シャフトガイドをお使いください。

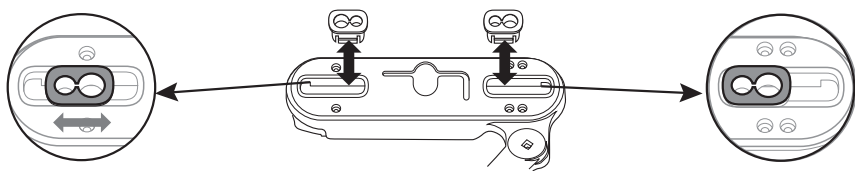
※シャフトガイドは標準2個、付属
14mmシャフト用2個の計4個あります。



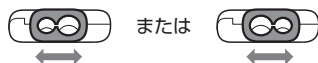
※標準のシャフトガイドを取り外し、付属のものと交換してください。

3 シートにスタンド本体を取り付ける

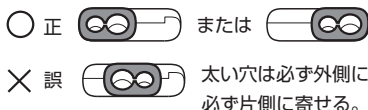
本体裏側からシャフトガイドを押し上げて取り外し、シャフトの幅に合わせセットします。
最初に右側のシャフトガイドの位置を決定してから、シャフトの幅に合わせて左側シャフトガイドの
位置を調整します。



左側のシャフトガイドは左右にスライドさ
せて調整できます。
左右を入れ替えて調整もできます。



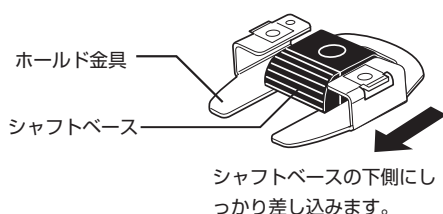
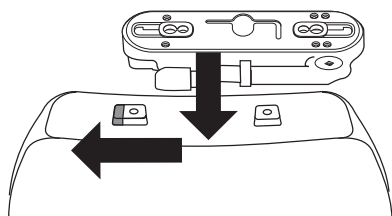
右側のシャフトガイドは必ず右側か左側に寄
せてください。中央にはセットできません。
また、左右を入れ替えることはできません。



リアモニタースタンドの取付方法

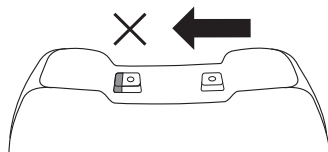
4 シートにスタンド本体を取り付ける

シート上部のシャフトベースにスタンド本体を取り付けます。上から押さえ込みながらホールド金具をシャフトベースの下側に差し込み、右から左へスライドさせてセットします。

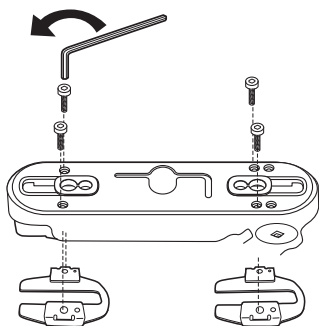


取り付け時にスタンドをスライドさせることができない場合

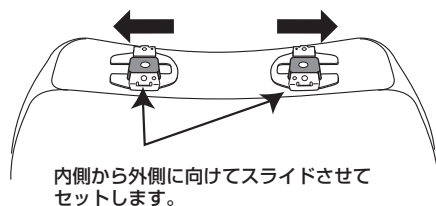
シート上部の両端が盛り上がっていたり特殊な形状で、スライドさせて取り付けることができない場合は、スタンド本体からホールド金具を一度取り外して取り付け後、本体を取り付けます。



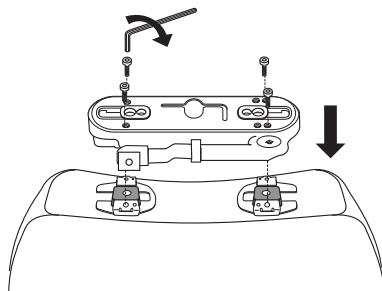
1 付属の六角レンチでホールド金具を外します。片側2本合計4本を外します。



2 取り外したホールド金具をシートのシャフトベースに、外側に向けて取り付けます。



1 スタンド本体を上からかぶせネジ止めします。ネジは最後までしっかり固定してください。

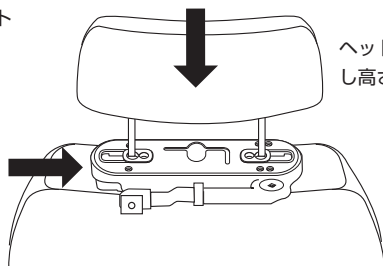


リアモニタースタンドの取付方法

4 ヘッドレストを元に戻す

ロックボタンを押しながらヘッドレストを元に戻します。

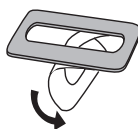
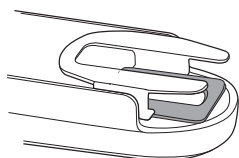
ロックボタンはこちら側の隙間から指を差し込んで押します。



ヘッドレストを元に戻し高さを調整します。

■取り付け時にガタつきがでる場合

シャフトベースの形状によってはスタンド本体を取り付けた場合にガタつきが出る場合があります。そのような場合は付属のスペーサーをスタンド本体に取り付けてからシートにセットしてください。

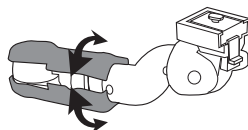
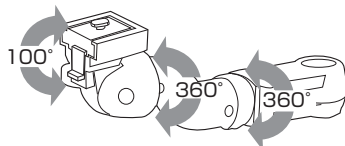
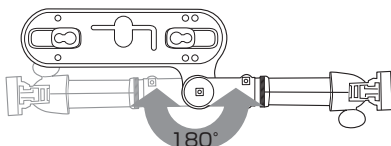


スペーサーの剥離紙をはがしてスタンド本体に貼り付けます。

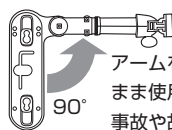
モニターの取り付け

1 アームを調整する

図のようにアームを動かしてモニターを使用する位置に調整します。アームの動きが固い場合は付属の六角レンチでネジを緩めて調整してください。調整後にネジを締めると固定されます。



アームを調整する場合はプロテクターを取り外しておこなってください。調整後はプロテクターを戻してお使いください。

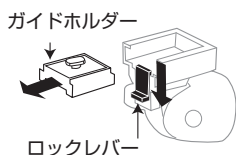


アームを90° 開いた状態のまま使用しないでください。事故や故障の原因となります。

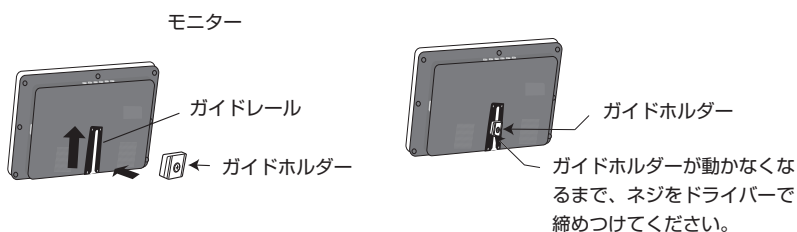
リアモニタースタンドの取付方法

2 モニターを取り付ける

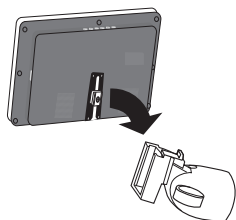
ガイドホルダーをモニターのガイドレールに取り付けてからアームに設置します。
取り付け後は、必ずプラスドライバーでネジを固く締めつけてください。



1. ロックレバーを押してガイドホルダーを外します。



2. プラスドライバーでガイドホルダーのネジを緩めてから、ガイドホルダーをモニターのガイドレールに取り付けます。



3. ガイドホルダーをアームに取り付けます。

仕 様 書

商品名	10.1インチHDMI対応WSVGAモニター
型番	RMX-H1017
ディスプレイ	10.1インチWSVGA LEDバックライト液晶
視野角度	上70° 下50° 左右70°
解像度	1024×600
入力モード	AV-IN/HDMI
使用電圧	DC12V (マイナスアース車)
消費電力	約6W
使用温度	0℃～50℃
保存温度	-10℃～60℃
本体サイズ	約248×158×24mm
本体重量	約511g
カラー	ブラック
映像入力	VIDEO×2/HDMI×1
音声入力	AUDIO×1/HDMI×1
サポートしているHDMIの信号	480i/480p/576i/576p/720i/720p/1080i/1080p *HDMI Ver1.4に対応
スピーカー	8Ω 1W×2
操作方法	本体ボタン/リモコン
商品内容	・本体 ・リモコン ・電源ケーブル ・マニュアル ・保証書 ・スタンド ・電源供給用USB端子



ご注意

本機の仕様及び外観は、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。

故障かなと思ったら

●修理を依頼する前に以下の内容を確認してください。

こんなとき	ここを確認してください
電源が入らない	・各接続のコネクターは完全に接続されていますか？
	・ +12V ACC（赤線）は正しく接続されていますか？
	・ アース（黒線）は車両金属部分へ取り付けていますか？
	・ ヒューズボックス内のヒューズは切れていませんか？
映像が出ない	・ 各接続のコネクターは完全に接続されていますか？
	・ 映像の入力切替は正しい設定になっていますか？
映像の映りが悪い 色が薄い・暗い	・ 明るさ、コントラストなどを調整してください。
	・ 後方からのライトや光の具合によっては見にくい場合があります。
	・ 映像入力ケーブルが極端に長くなっていませんか？
音が出ない	・ ボリュームを調整してください。
リモコンが動作しない	・ 電池は正しい向きで入れていますか？
	・ リモコンの電池寿命が考えられます。
	・ リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作していますか？
	・ 直射日光やライトなどの強い光がリモコン受光部に当たっていませんか？

ご注意

- ・ 症状が改善しない場合や上記以外の症状に關しましては、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ・ お客様による修理は大変危険です。絶対におやめください。

azur RMX-H1017

販売元：株式会社イノベティブ販売

サービスや修理に関するお問い合わせ先

サービスセンター：〒343-0003 埼玉県越谷市船渡68-8

TEL：048-970-5027